



補位

卷二

步至第廿七聯隊步至中尉富岡郁造

暴行、案件、（一）记录要者、（二）被告相立、（三）又、（四）被告

附出長と於テハ、
如河ナル處分ニ附
セテ其繼承分

改五古及由律入

书记

步五第廿七 聯係中耐富岡郁造五

月官堀田伯耆、招待、應ニテ、係飲酒

度之ヲ以テ番服務中ニ在リテ係ハス自己

下宿ニ帰り家人ニ暴言ヲ吐キ且ツ新町

料理店高宮松造方々釣ランヲ破壊シ

昭レト失火ニ至ラシメントシ且車夫及隣人
数人ヲ殴打シ負傷セシナタリ

陸軍省

陸密第一〇一

號

五月十日

署

陸

軍

吐中 庚子 曰 陸修 弼王 大儒 劉 恒 亦 吳 中

五月初十日
出藥七四三號

時片山廣之時、宿田中時、傳家、下宿
 と病り、以て何事、まゝと思、現物、創り中
 時、呼出し、帰宿せよ、と云、聞、入、不為、
 作、新町料理店、宮松造方、同、
 登、接し、暫時、休憩せよ、
 酔、醒、さん、待、
 物、取、し、メント、と云、
 主、及、ヒ、家人、
 向、ヒ、甚、
 夕、夜、過、
 等、ト、稱、
 遂、
 惜、
 般、
 傍、
 掛、
 ケ、
 P
 リ、
 金、
 釣、
 り、
 プ、
 破、
 壊、
 下、
 せ、
 火、
 直、
 ケ、
 二、
 石、
 油、
 燃、
 焼、
 人、
 及、
 近、
 隣、
 者、
 火、
 事、
 々、
 ト、
 呼、
 び、
 り、
 以、
 直、
 十、
 名、
 者、
 集、
 リ、
 害、
 者、
 現、
 物、
 駆、
 ケ、
 付、
 金、
 内、
 既、
 火、
 二

備止止えか旗うが一個、破壊し世捕囚一
枚、焼失し残る

二、大崎キ、旧料地所係家、住人、裁縫職
大畑助之助、現場に駆付け、咄然と上りこ
面同中村、大畑、頼り、方々、四打、打せりト
三、東島、現場に駆付け、中村、種々、悪罵を
これ、周審中、事なり、以て、車夫、うて、誤降
返送、うて、これ、破傷、管門、前、刻々、何故、
車、乗、毛、毛、ヤト、詰問、し、車夫、面、部、頭、部
面、腕、部、打、し、左、眼、上、方、に、擦、過、傷、ヲ
受、ケ、タ、ト

四、修多車夫の眼、異状ヲ呈シタリトテ五月廿日
 修多町内務山眼科医院ニ到リ受診ス
 眼ニ異状ナキモ眼ノ上下凸部骨上ヲ
 乱打セタルノ故ニ眼ノ生シ約一週間休
 業ヲ要スル旨診断セシメテ告知セシメ
 診断書ヲ要求セシメ自費料金約四ツ要
 スル旨答へタルヲ車夫の身分柄取内大佐
 ナリトテ家ニ告訴シ取止メタリト
 五、器物ノ毀損セシメ料理請求松造方ニ於
 テモ年告新セカト
 如件ハ勿論長年所屬跡地者ニ内任指

明治三十二年五月十日	長子 市川市 師長、内務省	市川市 師長、内務省						
-------------------	----------------------	-------------------	--	--	--	--	--	--

V 體温表式 五

五

三

三

二

軍事部第七ノ号

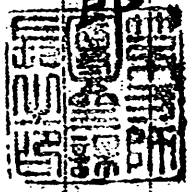


第一師團司令部 二九 號

富岡中尉ニ関スル申報

明治四十五年有替日

第一師團參謀長橋本勝太郎



陸軍次官男爵石本新六殿

補任



2040 閱

陸軍第一〇一號 御内牒ノ步兵第五十七聯隊中尉富岡郁造暴行ニ関シ同中尉、所為ハ酩酊事ヲ有セス將校ノ態度ヲ失セル所屬大隊長ハ同中尉ヲ重謹慎七日ニ處シ聯隊長ハ同三日加罰シ又所屬旅團長ハ同地ニ至リ取調ノ結果尚聯隊長ニ對

査

軍

湖報
報告書寫ノ通り處分致候條此段及津報
修也

寫

處分報告

明治四十年五月廿日

步兵第二旅團長

第一師團長宛

今般左記ノ通、處分致候間此般及報告候也

左記

陸軍少佐大佐竹迫彌彦

右者去ハ五月廿日堀田伯爵邸園遊會ニ際シ聯隊
週番、外用務アル將校二、三ヲ殘シ自餘ノ將校ヲ率ヒ
テ其招待ニ應ニテ是レ大佐ハ堀田邸ハ兵營ヲ遠

カラス徒テ白晝數時間廻番將校不在ナルモ別ニ支障
 ラ生セサルヘク且自身引率スルナレハ内務省ノ精神
 ニモ違背セサルヘシト信セシニ因レリ然レトモ内務省第
 十五章第四ニ依レハ廻番將校ノ公務外ノ外出ヲ禁シ
 アルハ明瞭ナリトス右ニ付本職ハ大佐カ内務省ノ
 誤解ヨリテ廻番將校ヲ外出セシメシ庸ヲ譴責
 ス

開

軍事

陸軍省

肥

第師團

密發第

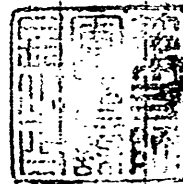
二四

富岡中尉暴行、関スル回答

明治四十二年五月十八日

第一師團參謀長橋本勝太郎

陸軍省副官立花小一郎殿



歩兵第五十七聯隊附富岡中尉暴行、関シ御
内牒、趣了承右、目下當該旅團長ヲ
同地、出張セシ、調査中、有之候條何分
、儀不日可申進此段及御回答候也

軍事第七一號

